

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達サポート 運動療育のかがやき		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様の満足度、安心感	・お子様が楽しいと感じることを第一に考え、その中でどう苦手に挑戦していけるか工夫をしてプログラムを考えております。	・お子様が自発的に挑戦したいと思えるような環境づくり、声掛けを行います。
2	・スタッフの専門性	・定期的に研修を行うことで知識を深め、事例検討を行う時間を設けるなど、現場での支援に活かすことができるような活動を行っています。	・スタッフの経験も重視し、学ぶ意欲を尊重して機会を設けてまいります。
3	・ご家庭との連携	・ご利用毎に保護者様と顔を合わせ、些細な様子も共有しております。必要に応じて電話やLINE、活動の様子を写真や動画で発信することで保護者様の安心感にもつながると考えています。	・ご家庭を通じて学校とも連携をとり、支援の統一を行っていただけるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・業務の効率化	・現場業務と運営業務の個々の負担に偏りがあるのではないかと。	・限られた時間の中で最大限効率よく業務を行い支援に活かすことができるようスタッフ間での連携を密に行う。
2	・保護者様支援の機会	・開催している保護者参加型のイベントの参加率がやや低いように感じます。	・保護者様が参加しやすい環境設定や、ニーズに沿ったイベントの開催をおこなうことでより参加率を上げてお子様の成長に貢献出来たらと思っています。
3	・地域との連携	・近隣福祉施設や店舗との関わりを持つことで理解を促す取り組みを行っているが、関りに偏りが出てしまう。	・通年を通して関りをもつことでより、地域で見守る体制を作りお子様が安心して通所できる環境づくりに努めてまいります。